

2025年9月8日

アーティスト和田陽光さん作『アシタニネガイ Hoping for Tomorrow』 HERALBONY Art Prize 2025 最終選考作品を京急ミュージアムで展示します

京浜急行電鉄株式会社（本社：横浜市西区，社長：川俣 幸宏，以下 京急電鉄）は，2025年9月10日（水）から京急ミュージアムにて，「HERALBONY Art Prize 2025※」ファイナリスト和田陽光（わだようすけ）さんの絵画作品「アシタニネガイ Hoping for Tomorrow」を展示いたします。

※世界中の障害のある作家を対象に，プロ・アマチュア・年齢・国籍を問わず，その創作の力を発表する場を提供し，キャリアの芽吹きを後押しすることを目的として2024年に創設された国際アート・プライズ（国際賞）。

和田陽光さんは，自閉症などを持つ21歳の京急沿線在住のアーティストで，幼少期から京急線を描き続けており，2022年6月には京急線沿線の弘明寺のギャラリーで京急線の作品展が開催されました。今回展示する作品「アシタニネガイ Hoping for Tomorrow」は，「HERALBONY Art Prize 2025」で応募総数2650点の作品の中からファイナリストに選ばれたもので，2025年8月に京急電鉄へ寄贈いただきました。作品は，京急グループ本社1階の京急ミュージアム内の「京急ヒストリー」壁面にて，2025年9月10日（水）から12月26日（金）まで展示いたしますので，ご来館のうえ，ぜひご覧ください。

京急電鉄では今後も，都市生活を支える事業を通じて，様々な方が自分らしい過ごし方・働き方ができる社会の実現に貢献してまいります。



「アシタニネガイ Hoping for Tomorrow」



和田陽光さん（右）と川俣社長